



あなたも実践 ♪家計に♪地球に♪やさしい省エネ学習会

2月14日～3月6日までの約1ヵ月に4会場で「あなたも実践♪家計に♪地球に♪やさしい省エネ学習会」を開催しました。「加速する地球温暖化とパリ協定」について、早川光俊（CASA専務理事）が、「家庭でできる省エネ」については2会場ずつを、鈴木靖文さん（ひのでエコライフ研究所）、三澤友子さん（うちエコ診断士）が講師を務めました。

日程	開催場所	参加人数(名)
2月14日	高槻市立生涯学習センター	13
2月21日	ドーンセンター	11
2月27日	おおさかパルコープ京橋事務所	13
3月6日	堺市産業振興センター	13
合計		50

「加速する地球温暖化とパリ協定」

温暖化問題では、パリ協定の2℃目標と脱炭素社会の構築を目指すという歴史的な合意について解説。世界の加速する脱炭素化の動きと日本の現状における問題点を明確にした。自然エネルギー源への転換と省エネにとりくむことは温暖化防止に有効である。それには、市民・消費者が問題解決の鍵であるとの指摘。

異常気象と地球温暖化について

紅葉の時期が遅くなっていることをビジュアルで比較、この冬の寒さはなぜ起きているのか、異常気象の発生状況、世界の平均気温が2015年からの3年間で上位3位、100年あたりの年平均気温の上昇が世界に比べ大阪が1℃以上高いことを示すと、参加者の実感は更に増しました。

「家庭部門」のCO₂排出の現状と具体的な省エネ

家庭から排出されるCO₂は電力が49%、ガソリン・軽油が24%と大半で、これをどのように減らしていくか、主な省エネのとりくみは、省エネ行動、省エネ機器の導入、住宅の省エネ、エネルギーを作る、「物」を減らす、の5つ。家庭でのCO₂排出量の用途別割合では、1位 照明・家電製品、2位 自動車、3位 給湯、4位 暖房、となっており、それぞれ対策が話されました。

例えば、給湯では、1分間シャワーを短くしたら、テレビ300台を1分間消したのと同じだけの省エネ

効果があると紹介すると驚きの声。節水シャワーヘッドを使用すれば約3割カットできることがわかると「ぜひ、交換します」と。冬場、シャワーを止めるたびお湯が冷たくなるのを防ぐ方法なども紹介されました。

参加者の交流

普段、自分たちが実践している省エネ行動を書き出して振り返り、隣の席の人と交流。「はじめまして」の方とも話は盛り上がりました。

交流した内容を発表してもらうと、皆さんの日頃の努力がどんどん出てきます。中には「子どもが小さいので皆さんほどはできてなくて」という意見には、講師から「無理はしなくて大丈夫、できる範囲でやっていきましょう」とのフォローも。省エネベテランの方も、これからと思っている方も実践してみたいことが見つかった交流でした。

アンケートからは、「実際の暮らしでの省エネの話も具体的で、参加者をまきこんでのすすめ方がよかったです。その前に地球全体の視点からの話もよく、パリ協定の2℃の意味もようやくわかった次第です。」「各家庭で省エネを実践されていると思うが、他の人と交流する機会がない中で、このような学習会を開催することで自分の行動が正しいことや、他の人もやっているのだと感じたり、新たな行動を学んだりとよかったと思った。」などの意見が出されていました。

島田 和幸 (CASAスタッフ)